



2025 年 10 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ひかりホールディングス
(コード番号 1445 TOKYO PRO Market)
代 表 者 名 代表取締役社長 倉地 猛
問 合 せ 先 取締役経営管理本部長 立川 征吾
T E L 0572-56-1212
U R L <https://www.h-holdings.jp>

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025 年 4 月 15 日に公表した 2025 年 8 月期通期の連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2025 年 8 月期 通期連結業績予想数値の修正(2024 年 9 月 1 日～2025 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (2025 年 4 月 15 日公表)	百万円 5,532	百万円 130	百万円 107	百万円 62	円 銭 248.44
今 回 修 正 予 想 (B)	5,405	35	9	△37	△125.18
増 減 額 (B-A)	△127	△95	△98	△99	—
増 減 率 (%)	△2.3	△73.0	△91.0	—	—
(ご参考)前年同期実績 (2024 年 8 月 期)	5,274	57	76	28	110.89

2. 修正の理由

2025 年 8 月期の通期連結業績予想について、売上高は前回発表予想を下回る見通しとなりました。主な要因として、エムエイトアイ(株)〈電気通信工事業〉では、従来のモバイル関連工事に加え、新たに防災無線工事、通信設備の老朽化に伴う更改工事、EV ステーションの設備工事等の事業に着手し当初予算を達成しました。また、輝龍(株)〈総合改修工事業〉

は、新築マンションの元請工事、新築ホテルの一括工事などの新築工事業や生活支援サービスの Benry 事業（FC）を開始した事により前年対比を大幅に増加しました。一方で、(株)ひかり工芸/(株)ケイズクラフト〈タイル加工販売事業〉においては、稼働月ごとに受注量の変動したセグメントや、小林工業(株)〈土木工事業〉では、公共工事の入札開始が例年よりも遅れた事による機会損失が生じたセグメントもありました。更に(株)セラミックワン〈建築建材事業〉においては経営層の人事再編なども影響し、当初想定した水準を下回った結果となりました。

営業利益及び、経常利益は前回発表予想を下回る見通しとなりました。小林工業(株)〈土木工事業〉においては前述のとおり、公共工事の入札開始の遅れにより受注が遅れたことで当初予算の利益を確保する事が出来ませんでした。また、輝龍(株)〈総合改修工事業〉においても新規事業への投資負担（拠点の増設及び店舗の新設等）により販売管理費が膨らんだ事で連結決算における営業利益を下方する見通しとなりました。なお、経常利益につきましても、各社の金融機関からの借入による金利負担に加え、新たに(株)セラミックワン〈建築建材事業〉及び、輝龍(株)〈総合改修工事業〉が金融機関から借入を行った事により、支払利息が増加した事で当初予算を下回る見通しとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益も前回発表予想を下回る見通しとなりました。前述のとおり経常利益を修正した事に起因しております。

以上の理由により、前回発表の通期連結業績予想を修正いたします。

3. 配当予想

当社は、中長期的な企業価値の向上が株主の皆さまに対する最大の還元につながると判断した結果、経営基盤強化を目的とし、内部留保の充実を図るため無配とさせていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、何卒ご理解頂きます様、よろしくお願い申し上げます。

※本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び、合理的であると判断する一定の前提に基づき、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以 上